

# つながり

Vol.28



## 「利用者様と話し笑い合える瞬間が幸せだと感じます。」

岩手県介護老人保健施設協会、いわて地域密着型サービス協会及び岩手県社会福祉協議会高齢者福祉協議会（以下「当会」という。）の3団体が主催する令和3年度介護職員等合同入職式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年度岩手県介護従事者確保事業に係る新たに介護施設で従事する職員を激励するためのYouTube「ようこそ！介護の世界へ」と題し、動画配信で実施しました。

動画配信は、令和3年11月11日の介護の日に合わせて、動画共有サイトのYouTube上で公開され、主な内容は、上記3団体の新入職員による誓いのコメントや岩手県知事の応援メッセージ等となっています。

令和3年度の新入職員は、岩手県介護老人保健施設協会42名（14施設）、地域密着型サービス協会52名（16施設）、当会109名（31施設）で、当会からは、特別養護老人ホームいしどりや荘の新人介護職員の小笠原愛香さんが代表として出演されました。

小笠原さんは、介護の世界へ飛び込んだきっかけは？ という質問に対して、「高校での進路教室で、介護の仕事をしている方から直接お話を聞いた際、楽しそう、人と関わる仕事がしたいから自分にぴったりかも、と思ったことがきっかけです」と答え、さらに、幸せを感じる瞬間は？ という質問に対しては、「利用者様と笑い合える瞬間が幸せだと感じます」と答えられました。

小笠原さん、そして、上記3団体合計203名の新入職員の皆さん、ようこそ介護の世界へ！